



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより



■平成31年第1回定例会 2

■平成31年第2回臨時会・第3回臨時会 ... 3

■議員別賛否状況 4

■討論 5

■一般質問(9名) 6

■委員会ノート 14

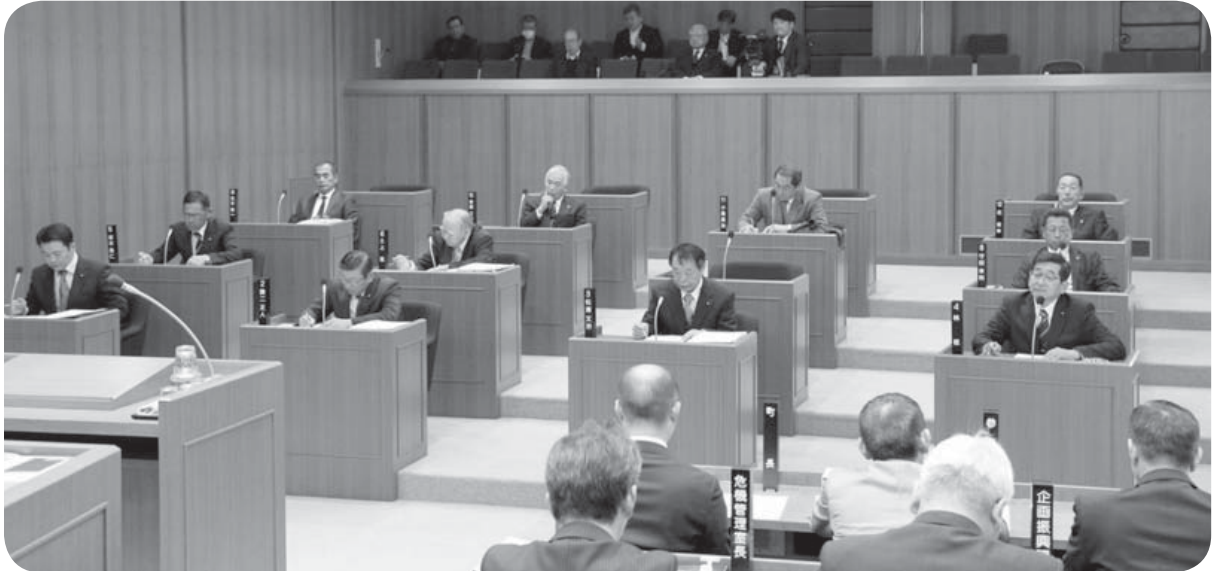
■議会日誌 16

第56号

(北大海第一保育所 5歳児)

平成31年度予算可決、成立 総額145億5,703万2千円

平成31年 第1回定例会 (3月7日~15日)



平成31年度 当初予算の状況

会 計 名		予算額	前年度比
一 般 会 計		73億4,000万0千円	5.5%
特別会計	国 民 健 康 保 険	16億3,696万9千円	9.9%
	後 期 高 齢 者 医 療	1億9,960万0千円	1.6%
	介 護 保 険	18億8,277万9千円	3.2%
	ケ ー ブ ル テ レ ビ 事 業	8,686万8千円	17.0%
企業会計	水 道 事 業	4億7,799万6千円	▲8.9%
	下 水 道 事 業	14億4,426万8千円	2.4%
	病 院 事 業	14億8,855万2千円	2.0%

○当初予算の主な施策

- ・ 道路整備事業 3億2,200万円
- ・ 埋蔵文化財センター改修事業 7,687万円
- ・ 災害対策事業 1,987万円
- ・ 保育所運営事業 3億7,716万円
- ・ 放課後児童クラブ運営事業 1,558万円
- ・ 総合計画策定事業 520万円
- ・ 宝達山整備事業 1,554万円
- ・ 森林環境基金事業 292万円
- ・ 有害鳥獣対策・緩衝帯整備事業 1,181万円
- ・ 健康増進事業 369万円
- ・ 風しん予防対策事業 329万円
- ・ 小中学校コンピュータ教育事業 1,927万円
- ・ 国際交流事業 708万円
- ・ 体育施設管理運営事業 2億7,023万円

○まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

- ・ 宝の住まいる応援事業 2,130万円
- ・ 空き家・空き地バンク事業 587万円
- ・ 移住・定住促進事業 621万円
- ・ 民間賃貸住宅建設補助事業 1,500万円
- ・ 若者通勤サポート事業 151万円
- ・ 宝たち成長祝い事業 2,564万円
- ・ 宝の縁むすび事業 59万円
- ・ 起業・創業バックアップ事業 267万円
- ・ 農産物等ブランド化推進事業 720万円
- ・ 宝のまちブランド推進事業 770万円
- ・ 四季の宝達PR事業 33万円
- ・ 地域行事サポート事業 40万円
- ・ 宝たち検定チャレンジ事業 50万円
- ・ 宝たちビジネスアカデミー事業 8万円

平成30年度 補正予算の状況

会計名		補正後の予算額	補正額
一般会計		77億9,308万0千円	▲2,063万円
特別会計	国民健康保険	15億2,388万1千円	2,765万円
	後期高齢者医療	1億9,878万2千円	224万9千円
	介護保険	17億8,058万6千円	▲6,494万4千円
企業会計	水道事業	5億 940万2千円	▲1,555万9千円
	下水道事業	14億3,580万9千円	1,942万2千円
	病院事業	16億3,863万7千円	2,116万2千円

第2回臨時会

去る2月25日に第2回町議会臨時会が開催され、5つの小学校のエアコン設置工事に係る補正予算（1億9千628万円）の議案1件および宝達志水武道館改修工事請負契約の締結について（1億8千220万円）の議案1件が全員賛成で可決されました。

第3回臨時会

去る4月26日に第3回町議会臨時会が開催され、任期満了に伴う2件の人事案件が審議され、教育長の任命については、賛成6人、反対4人、退場1人、また、教育委員の任命については、賛成9人、反対1人、退場1人と、いずれも賛成多数により同意されました。

議長から町長に申し入れ

町議会全員協議会の席上、柴田議長から町長をはじめとする町執行部に対し、次のとおり申し入れがありました。

柴田議長

町政について、議会と協議しながら進めていくという件について、町長および町執行部のこれまでの対応は、重要な案件等について、連絡もほとんどなく、結果を一方的に報告するのみで、協議すらできませんでした。

このような状況は、議会軽視と言われても致し方ありません。

今後は、議会に対するあり方について、真摯にご検討いただき、正常な議会対応をされるよう申し入れます。

寶達町長

ご迷惑をおかけしたことについては、お詫びを申し上げます。

今後、十分気を付けてやっていきたいと考えておりますので、ご理解願います。

表彰

4月11日、石川県町村議会議長会の定期総会が開催されました。

この席上で表彰状伝達式が行われ、全国町村議会議長会から自治功労町議会議員表彰が授与されました。

特別表彰

北 信幸 議員



27年以上在職者表彰

小島 昌治 議員



教育委員会委員の任命

近岡 真理子氏（出浜）

（任期は、平成31年5月10

日から4年間）

教育委員会教育長の任命

北山 茂夫氏（石坂）

（任期は、平成31年5月10

日から3年間）

議員別賛否の状況 (賛否が分かれた議案等のみ)

区 分 (主な内容)	結 果	岩 根 信 水	勝 二 正 人	松 浦 文 治	林 稔	塚 本 勇 仁	土 上 猛	柴 田 捷	守 田 幸 則	北 本 俊 一	金 田 之 治	小 島 昌 治	北 信 幸
○第1回定例会 (3月7日～3月15日)													
宝達志水町一般会計予算 (第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町国民健康保険特別会計予算 (第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町後期高齢者医療特別会計予算 (第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町介護保険特別会計予算 (第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町ケーブルテレビ事業特別会計予算 (第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町水道事業会計予算 (第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町下水道事業会計予算 (第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
平成30年度宝達志水町一般会計補正予算 (第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について (第19号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について (第20号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
宝達志水町若者等定住バックアップ条例の一部を改正する条例について (第24号)	可決	○	○	○	○	○	×	—	×	○	×	×	×
宝達志水町保育所条例の全部改正について (第28号)	可決	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	×
宝達志水町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について (第31号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	×	○
国に国保への国庫負担増を求める請願 (請願第1号)	不採択	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	○	○
75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求める請願書 (請願第2号)	不採択	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	○	○
副町長の選任について (同意第2号)	同意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
○第3回臨時会 (4月26日)													
教育委員会教育長の任命について (同意第3号)	同意	○	○	○	○	○	×	—	×	○	△	×	×
教育委員会委員の任命について (同意第4号)	同意	○	○	○	○	○	×	—	○	○	△	○	○

○は賛成、×は反対、△は退場を表しています。

なお、議長は、議事進行を行うため賛否表明はしません。

賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。(「裁」と記載)

討論!



小島 昌治 議員

「子育て支援」という視点 で予算案と条例改正案を 討論(要約)

一般会計予算

過去に宝達志水町を財政危機に陥れた無駄な公共事業はないか

町内から職場がある金沢方面への出勤で、米出インター利用のために米出区の狭い町道を通らないようにするための3億2千万円の道路新設についてである。前米出区長からも朝夕の車両通行規制を求める強い要望が出されている。そもそも、米出区の住民に迷惑をかけて狭い町道を通らないと米出インターへ

行くことができないのか。国道249号線から能登カントリーの前を通って米出インターに行く道幅の広い道路があり、所要時間の差は5分と違わない。私は米出区を通って米出インターを利用している数軒のお宅に、事情を話し、朝夕の米出区への通行配慮をお願いしたら、今でも快く国道へのルートを利用してきている。

町民の方々に納得のいく説明をして協力を求めれば、税金を無駄な道路作りでなく、子育て支援や高齢者の健康を守る予算にすることができ。それは免田用地のふるさと農道整備事業についてもいえることである。そもそも企業誘致失敗の場所への税金投入である。近隣町民からは「誰のための道路なのか」と問われている。無駄な公共事業をなくし、前町長が立て直した財政の健全性を保ちつつ、町民の方々の健康と福祉を守ることを優先する財政運営を強く求める。

反対

後期高齢者医療特別会計

国の制度改悪にともない後期高齢者医療制度の保険料が多額になっている。年金額が毎年下がる中で保険料が大きくなっていく。石川県を巻き込んで、軽減措置を作るべきである。

反対

国民健康保険特別会計

子どもにかかる均等割税2万2千円を廃止するように求める(350万円以下でできる)。また、町の国民健康保険加入者は年間所得100万円以下の方が過半数いる。2億円を超える国民健康保険基金があるのだから、それを利用した引き下げを求める。

反対

介護保険特別会計

国が誘導している「病院や施設から在宅へ」という施策に対応できる24時間介護サービスなどの在宅介護サービスの充実・展開が求められている。また、高すぎる介護保険料に対する町

独自の減額や免除の制度を作るべきである。

反対

上下水道事業会計

この事業開始時から一般会計からの基準外の繰り入れを前提に上下水道会計が成り立っている。一般会計の無駄な公共事業をやめて、この会計への基準外予算を行い、町民が安心できる上下水道料金にすべきであり、できることである。

反対

条例改正案について

①「子育て祝い金の減額」
教育無償と言いつながら、実際は、小学校入学時に10万円以上、中学校入学時に20万円以上、高校入学時には30万円以上の準備のためのお金がかかる。これを支援していたのが町の入学準備金制度である。この子育て祝い金を削減して、ただ町長が「子育て支援」といってもだれも信用できない。

反対

②宝達保育所をなくすための条例改正
前議会では「住民への徹底した説明」、「住民の納得のないところでの統廃合の禁止」、「統廃合するときは代替りの子育て施設の建設」という保育所統廃合の3つのルールを議会の全員一致で採択した。ところが、宝達地域の方々は「この議会決議が守られていないし、統廃合は『寝耳に水』だ」と言われている。議会全員が一致して作った統廃合のルールを無視する統廃合を認めるわけにいかない。

反対

以上、主な反対した議案の討論内容である。
反対したのは合計13議案、賛成したのは21議案である。



小学校と保育所の統廃合について

町長 志雄地区は志雄小学校、押水地区は未定



北 信幸 議員

問 北議員

①町長のこれまでの答弁や報道では、「議会と相談して」と表現されているが、どの案件で何回相談したのか具体的に答えてほしい。

②病院事務局長の採用方法はどのように実施したのか。昨年4月に就任し、6月のポーナスを全額支給してはいけないのに支給をし、なぜ、返済を12月まで滞ったのか。

③小学校と保育所の統廃合について、統廃合方針が発表されてから、やがて1年がたつが、その後どのように進んでいるのか。

答 寶達町長

①重要な案件については、十分に説明や協議をしていきたい。

②病院事務局長は、病院の改革プランの中で、経営改革に強い意識があり、経営感覚に富んだ人材を幹部職員に登用すると、明記されており、院長と協議した結果、現局長を採用した。

③志雄地区は、志雄小学校に統廃合し、押水地区の場所は未定だが、1校に統廃合していきたい。

志雄地区は、来年度に保護者や地域の方に対し、説明を行い、2023年度の開校をめぐりに統廃合を進めていきたい。

また、押水地区は、場所が決定し次第、志雄地区と同様に進めていきたい。

保育所については、宝達保育所を今年度末で閉所し、残る4保育所については存続したい。その中で、北大海第一保育所は、耐震工事を含む大規模改修の設計を来年度に行い、再来年度に工事を行う予定である。中央保育所は、どのような整備が望ましいか検討中である。

再質問 北議員

重要な案件については、事前に、説明していただいたほうが、今後の町づくりにかなりプラスになると思う。

ポーナスの件については、答弁がなかった。宝達志水病院の歯科が

4月から休業しているが、優秀な職員を採用しながら、なぜ、歯科医を見つけれず休業しているのか教えていただきたい。小学校の統廃合について、今から候補地を探していたら、3年や4年でできる仕事ではない。思いは一日も早く、子どもたちに、勉学に頑張っていただけのような環境を作ってもらいたい。

答 寶達町長

①ポーナスの件については、誤解の中で実施をしてしまった。返済については、規定のとおりを実施した。

宝達志水病院の歯科については、できる限り早い再開に向けて取り組んでいく。



再々質問 北議員

耐用年数が過ぎている保育所に2億5千万円のお金をかけるのはいかがか。

ポーナスについては、規定に従って戻していただきましたと先ほどの答えにあったが、どこにその規定があるのか。

答 寶達町長

北大海第一保育所は、現在も多くの子どもたち、また長きにわたり地域の保育を支えてきて、多くの方からも親しまれた場所、施設であると認識しているの、それを有効に活用して、これからもその場において保育が行われるのが望ましいということで改修をするものである。

答 参事兼総務課長

ポーナスについて、この状態がわかったのが、前回の11月の答弁にもお答えしたとおり、9月か10月である。給料等については、相殺できることになっている。次のポーナスが12月であったので、相殺という形をとらせていただいた。

児童虐待、いじめ対策は

町長 言動、行動に注視し早期発見に努める



守田 幸則 議員

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

問 守田議員

①児童虐待問題について、保育所や学校、行政の対応はどのように行っているのか。

本町のホームページを見ると、いじめや不登校に関する記事や調査結果などは一切出ていない状況であるが、これをどう捉えればよいのか。

②成長祝金の効果をどのように判断され、支給金額の改正がなされるのか、町長の見解をお伺いする。

③総合戦略における具体的な施策と事業や重要業績評価指標について、目標と達成度の管理をどのように行っているのか。

④地域包括ケアシステムの構築について、その進捗状況と課題をどのように整理されているのかお伺いする。

答 山岸教育長

①学校においては、児童・生徒の体調、健康状態、服装の汚れに不自然さがないか、授業態度や言動、行動などに注

視し、早期発見に努めている。

児童虐待やいじめの訴え、不登校児童・生徒を把握した場合は、管理職、生徒指導主事、担任等を含む対策チームを早急に立ち上げ、事実確認、事後指導、保護者対応について協議し、全職員へ周知し、早期発見・早期対応を心がけ、町教育委員会にも欠かさず報告するよう指導している。

いじめ、不登校の公表については、町内の状況は公表していない。

答 健康福祉課長

①虐待等の要保護児童の早期発見や適切な保護を行うため、児童相談所、小・中学校、保育所、警察などの団体で構成される要保護児童対策地域協議会を設置して、団体間の連絡を深めている。

答 寶達町長

②事業内容の見直しを行い、成長祝金については、一律3万円を支給する。

なお、成長祝金は減額となるが、バックアップ条例のほかの事業である住宅新築等奨励金や出産祝金は、大幅な増額の見直しとなり、定住促進

事業全体としては拡充となる。③まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において、取り組み実績や重要業績評価指数的のKPIの進捗状況をもとに事業の進捗管理や評価を受けており、事業の効果が上がるよう、見直しを行いながら進めている。

なお、総合戦略の目標達成につながる事業として、日本版DMOの設立を進めたい。

答 宝達志水病院事務局長

④このシステムにおける医療については、当院は在宅医療、訪問看護、往診、急変時の対応やみとりなどである。訪問リハビリ、それから病院では、機能別病床数の整備などで対応ができる。病院は、幸せに人生を終えることができる環境を整備していくために、介護施設との連携を通じ、支援を強化していきたい。

再質問 守田議員

なぜ、成長祝金を減額したのか。

地域包括ケアシステムでは、5つの要素の中で

の生活支援などがあるが、町内において、支援をする団体はどれだけあるのか。

答 寶達町長

若者がよい環境ですつといろいろな活動ができる、生活ができる、他の事業に取り組んでいきたい。

答 宝達志水病院事務局長

支援する団体は、健康づくり推進員で、13ブロックに分かれている。

再々質問 守田議員

成長祝金は、他の自治体で行っているところがあるのか

答 企画振興課長

他の町には、このような特典はなかったということ記憶している。

二級河川の管理について

町長 前田川の堆積土砂を除去



勝二 正人 議員

問 勝二議員

①今年度、空き家に関する調査が実施されたと思うが、戸数、建物の状態、所有者の状況等、主な調査内容について、その結果に対する所見をお聞きしたい。

次に、空き家により発生している悪影響やそれに対する苦情・相談内容についてお聞きしたい。そして、新たな利用が望めない空き家については除却が進むよう、解体費の補助や税の優遇を行うことを提案するかどうか。

また、利用可能なものは積極的に活用が図られるよう、取り組むべきである。現在、空き家バンクや改修の補助があるが、新たに特徴的な事業を行うことを提案する。

②13の二級河川があるが、どの川も土砂が堆積した上に草木が繁茂し、災害の発生が懸念され、多くの町民が現状に不安を抱

えており、早期の対応が急務と考える。そこで、町内の河川はどのような対応がなされる予定かお尋ねする。

また、土砂の除去のほか、堆積土の撤去が困難な場所については、河床整正工事をすべきと考えらるがいかがか。

③押水地区の中学生保護者から、冬季にバス通学の実施を求める意見がある。

バスを運行すれば、渋滞の発生を抑え、安全確保にも効果があるほか、保護者の負担軽減が図られると考える。

そこで、冬季に通学バスを運行した場合、どの程度の経費がかかるのか、また、どのような問題をクリアする必要があると考えるか。

答 寶達町長

①町内の空き家件数は、390戸である。危険性の高い空き家27戸の所有者に対し、修繕あるいは解体等の助言・指導を行い、そのうち本年度までに9戸が除却され、2戸が修繕された。

空き家の解体に対する補助制度や税の優遇措置を行っていないが、他市町の例や効果などについて調査研究し、導入を検討していきたい。平成28年度から空き家バンクの開設や改修費等の助成を行っている。先進事例を参考に空き家の有効活用を図り、移住・定住につながるような施策の展開を図っていきたい。

②国の補正予算及び来年度の予算案に3カ年の緊急対策として堆積土砂の除去が盛り込まれ、県ではこれを活用し、積極的に工事を進める予定と聞いている。

町内では、前田川ほか数河川において堆積土砂の除去が実施される予定である。その他の対策が必要な河川についても、3カ年の緊急予算案に基づき、順次計画的に工事が進められる予定である。

また、土砂の除去、運搬が困難な場所において川底をならす河床整正についても、県に対し提案、要望していきたい。

答 山岸教育長

③生徒の登下校時の送迎ルールを作成し、保護者に対して書面にて安全確保の周知を図っている。

冬期間だけ押水地区の中学生にも通学バスを運行させるためには、現在走っているスクールバスだけでは対応できないため、バスの台数を増やさなければならぬ。加えてバス停の整備や通行エリアの協議、冬場のみの運転手の確保を行う必要がある。特に冬場だけの運転手を雇用することとは、現在の業務委託を考えると難しいと思われる。経理面では、バスを3、4台増やす購入費が約6千万円、バス停約20カ所の整備には約2千5百万円、それに、冬季運行委託料が11月から3月までの5カ月として約1千万円かかることが推測されることから、現状では困難である。

オムライスグルメ祭りの開催について

町長 実施体制が整わず、開催できなかった



土上 猛 議員

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

問 土上議員

①宝達志水多目的グラウンドの整備計画および管理についてお聞きしたい。野球場から多目的グラウンドに変更されてから10年以上たち、用途を何にしようとしているのか、いまだはっきりしていない。芝生の管理状況もきっちり管理されていると思えない。野球で使用しているときは非常によい芝状況であったが、それが年々管理が雑になったのか、非常に悪い状態である。使用しないからあまり管理しなくてよいとお思いか、いざ使用しようとしたときは、かなり経費もかかると思う。

平成30年度の管理費および平成31年度の管理費をいくら計上しているのかお聞きしたい。

また、あわせて隣接のグラウンドゴルフ場の管理経費もお聞きしたい。

②オムライスなどのグルメ祭りの開催についてお聞きしたい。

最近、テレビでもオムライスについて、放映されているが、町自身がオムライスについて、あまり力が入っていないように思われるが、その点どうなのか。

また、平成30年度グルメ祭りなどを実施しないのか。予算計上はされていたと思うが、その点も含めてお聞きしたい。

③企業誘致について、町でまとまった敷地、現存リカージャンプ前の敷地が国道に面して一番よい場所にあると思われるが、進出企業があるとかないとか、色々なうわさが流れている。現実進出しようとしている企業があるのか。

また、今後この敷地の活用をどうお考えなのかお聞きしたい。

答 寶達町長

①公共施設の統廃合計画に基づき、平成27年4月に押水運動公園野球場から多目的運動広場に用途変更をし、平成29年4月に多目的グラウンドに施設の名称を改め、現在に至っている。その間、中学校サッカークラブや陸上部の練習、トスベースボール大会、キャンプ、また保育所・小学校の遠足等に利用されている。

管理運営は、平成28年4月からNPO法人宝達志水スポーツクラブが指定管理業務として行っている。芝生の管理状況は、現状での使用については支障がないと考えている。

また、経費等については、平成30年度の多目的グラウンドの維持管理費として80万円、平成31年度についても80万円を計上している。

また、隣接しているグラウンドゴルフ場の維持管理費は、平成30年度は280万円、平成31年度については300万円を計上している。

②オムライスによるまちづくりについて、イベント数の減やコミュニティカフェの閉店等があり、グルメ祭りのイベントは、平成29年度は食のイベント開催補助金や能登ふるさと博補助金を活用し、オムライス加盟店の主催で開催された。今年度も補助金の予算を計上したが、実施体制が整わず開催しなかった。

③この土地は、町内外への交通アクセスが良好で、本町の企業誘致用地として位置づけられている。

整地等の環境整備については、進出する企業の意向を踏まえた上で取り組むほうが、効率的な整備が図られるため、進出企業が決定した時点で機動的に取り組みたい。

今後の利活用については、引き続き、町内の産業・経済の発展に資する効果的な企業誘致の実現に向けて取り組んでいきたい。

宝浪漫マラソンについて

町長 コースを見直し、円滑な交通誘導を徹底し、渋滞を避ける



松浦 文治 議員

問 松浦議員

① 昨年に宝浪漫マラソンが初めて開催されたが、大会運営について、関係した方々や団体からどういった意見や反省の声が出ているのか、総括もあわせてお聞きする。

これらの分析をコンピュータによるテキストマイニング、データマイニングで行ってはどうか。専門業者に依頼したり、大学と提携するなどして、参加者の貴重な生の声を今後の大会に生かしていく継続的な取り組みとして実施することを実行委員会に提案してはいいか。

② 安心ほっとメールの利用登録をより多くの方にしていたことが重要である。

例えば、私も登録の際に感じたことであるが、インターネット上での登録の手続が少しわかりにくいとの住民の声を聞いている。

安心ほっとメールで不審者情報があった際に、その情報は地元集落や学校、警察とどういった形で共有されているのかも含めて、関係機関との連携体制はどのような形になっているか。あわせて情報があった後に、見守りを強化するなど再発防止策はどういった形でとられているのかもお聞きする。

来年度から実施される県の地域防犯の出前講座などの取り組みを利用して、子どもたちとともに地域住民が地域防犯を考へて啓発するマップづくりなどの取り組みを、町として取り組めばどうか。他市町で行われている見守りメールの取り組みの効果について、町や町教育委員会としてどういった所見をお持ちか。③ 11月末に行われた石川県防災総合訓練に参加した町民や町の関係機関からは、訓練に対してどう

いった感想、反省の声が上がっていたのか。

答 寶達町長

① 全国から2千人を超える多くの参加者があり、町のPRに効果があったが、交通渋滞が発生し、ドライバーや地域住民に迷惑をおかけした。今後は、コースの見直しを図るとともに、看板を増やし、迂回路への円滑な交通誘導を徹底し、新聞、テレビなどのメディア媒体を積極的に活用して交通規制の事前周知を図る。テキストマイニングやデータマイニングで処理をしながら、政策分野でも今後は活用することが望ましいと考えている。② 通信内容を秘匿する暗号化、通信相手の真正性、通信データの改ざん防止により通信の安全を保護しており、セキュリティの面から、登録方法は現在の方法が最善だと考えている。

操作方法については、今後町広報、ホームページやケーブルテレビ等で継続的に登録方法を周知するほか、各

種団体の会議や講演会等で町職員がサポートを実施する。③ 地域防災力の強化を図るため、防災士の計画的な育成や自主防災組織の普及のための支援、各集落と連携した防災訓練も実施する。

答 山岸教育長

② 学校では、既に子どもや教職員、保護者などの協力のもと、危険箇所マップを作成している。

毎年、教育委員会で行っている通学路安全点検プログラム事業においても、学校、警察、国土交通省、県土木事務所、交通安全推進隊や町の関係部署の皆様とともに通学路を回り、危険箇所の情報共有と改善策について協議している。そこであがった危険箇所については、危険箇所マップに追加したり、削除したりしながら改良を図っている。

病院へ行きやすい交通システムについて

町長 最適な交通体系の構築を図る



林 稔 議員

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

また、利用状況や町民からの意見を参考とし、地域交通会議においてルートなどを検討し、適宜見直しを行いながら、最適な交通体系の構築を図る。

町ではコミュニティバスとデマンドタクシーを運行し、それぞれの長所を生かした公共交通体系によって、住民の交通手段の確保に努めている。

〔答〕 寶達町長

町民が使いやすい交通システムを構築できるよう努力をしてほしい。

〔問〕 林議員

イノシシの解体処理後について

町長 堆肥や皮製品にして利活用



塚本 勇仁 議員

今後、捕獲数が増加することが予測されるなか、殺処理・解体処理後の処理について町としてどのようなにお考えか。

本年度、当町においてイノシシの捕獲数が680頭、羽咋市では540頭であり、当町より食肉として68頭余り処理してもらっているが、これ以上は無理だということを感じている。

イノシシの活動が活発で、ため池からの水路ののり面に穴を掘り、それが原因と思われる土砂崩れによって水路が寸断され、耕作を断念した地区もあるようである。それらを解消するには、イノシシを捕獲するしかない。

〔問〕 塚本議員

イノシシを食肉にするためには、高度な捕獲技術が必要であるほか、限られた時間内に捕獲場所から処理施設へ持ち込む必要があるなど、全て

〔答〕 寶達町長

を食肉加工するには難しく、多くが埋設処分されている。現場での手作業による埋設は重労働であり、捕獲者にとってイノシシの廃棄は大きな負担となっている。県内でもイノシシの増加が著しく、埋設地の確保が困難になっている場所もある。

有害鳥獣の捕獲活動支援を行う一方で、廃棄物としての処理体制は、整備が進んでいない現状がある。

捕獲したイノシシの有効利用としては、地域おこし協力隊員を中心に、堆肥や皮製品の加工など利活用に向けた検討をしている。

このほか、処理・解体処理後の残など焼却処分としていくものは、既存処理施設も含めた広域的な処理に向けた取り組みが必要である。

国による施設整備、活動支援など、ソフト、ハード両面での対策を活用しつつ、羽咋郡市有害鳥獣対策協議会や関係機関などと連携を図りながら、今後の捕獲、また収集・運搬、利活用・処理までの流れをつなげた一体的な処理システムの構築に向け検討をしている。

不妊治療の助成について



岩根 信水 議員

町長 助成額の増額を検討する

問 岩根議員

①本町において、不妊治療の助成を行っていることは認識しているが、出生率の推移を踏えると、その助成は十分ではないと思われる。一般不妊治療あるいは特定不妊治療を受けて是非子どもが欲しいと願われる方々に対して、強力にバックアップしていくことは、本町において少子化問題解決の一助として重要であると考えているが、町としてはどのようにお考えか。

また、具体策があればお伺いしたい。

②人口減少の1つの要因として人口流出が挙げられるが、その中でも、県外へ進学した学生が進学先の近郊で就職活動をし、そのままその地域で就職をするということが一因としてあるものと思われる。そこで、本町でチームを立ち上げて、県外へ進学した学生に対し、地元での就職活動を支援す

ることができないかというところをお伺いしたい。

県外の学生がこの地元へ帰省をして就職活動をするのは、時間的にも経済的にも大変な負担である。そのために、この地元での就職活動に二の足を踏んでいる学生が少なからずいるのではないかとと思われる。

そこで、就職活動支援の内容として、以下のことを挙げたい。

1つ目は、地域の就職情報や就職フェア、県内の公務員採用試験などの案内を県外へ進学した学生を対象に通知するとともに、企業等と学生との調整役を担うこと。

2つ目、就職活動のために帰省する学生に対して交通費を助成することの2点である。

将来、親となり得る若者の地元の定着は、重要課題である。本町は非常に優秀な人材を育てていると認識しているが、そ

の人材を地元で定着させることが大切である。

また、このことは企業誘致の際に、本町が人材育成・人材確保に本腰を入れていくというアピールにもなる。この就職活動支援について、どのようにお考えになるかをお伺いしたい。

答 寶達町長

①本町の不妊治療費助成制度は、助成の上限額が一般不妊治療は5万円、特定不妊治療は今年度から30万円に引き上げている。また、不育症治療費については30万円を上限に助成を行っている。

これらの治療費が高額であるケースが増加傾向であることから、治療を受ける方を支援するために、助成額の増額について検討していきたい。

②宝達志水町の人口減少は、県外で進学した学生がそのまま県外で就職してしまうことが1つの要因であると考えている。

平成31年度新規事業で、移

住・定住促進事業費を予算計上している。内容は、町と民間が連携した組織による移住・定住施策の充実、サポート体制の整備、情報発信の強化である。その取り組みの中で、県外へ進学した学生のUターン支援を行っていききたい。県人材確保・定住機構等が県内外の大学生を対象とした地元就職促進事業を行っている。

その中で、就職状況アンケート調査等により県内出身学生の就職状況の実態を把握し、SNS等を活用し継続的に地元就職情報を提供している。本町独自の取り組みについても、移住・定住促進事業の中で検討したい。

就職活動のために帰省する学生に対しての交通費の助成については、県外大学生等の就職活動の負担軽減につながると考えられるので、第二次町総合戦略の策定に際して検討していきたい。

人口減少の抑制を図るためにも、若者の定住促進事業の一環として、就職活動支援を積極的に推進したい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



小島 昌治 議員

子どもの貧困地策と平成31年度予算について

- ①当町での子どもの貧困実態調査実施の考えは
- ②若者の願いに反する「宝たち成長祝い金」の支給趣旨に反する減額に反対する

- 町長
- ①子どもの貧困実態調査は実施の方向で検討する
 - ②他の総合戦略事業とともに見直しを行った

問 小島議員

①(日本の子どもの六人に一人が「貧困」だという政府の調査結果に基づいて)能美市に続き、金沢市が「子どもの貧困実態調査」を昨年実施している。これは施策作りの基本になる調査である。国会でも「実態把握」と「対策」の計画作りを全市町村にするよう求める法律作りの検討が始まっている。今回の「成長祝い金」がごく少数のアンケート回答者の意見を(必要以上に)根拠にして削減されたように、一部の意見に左右されないよう、きちんとした実態調査をする必要がある。いかがか。

答 寶達町長

貧困問題の対応に有意義だと考えるので、実施の方向で検討を行いたい。

問 小島議員

②平成31年度の予算案では「宝たち成長祝い金」が6歳、12歳、15歳、18歳とそれぞれ3万円、5万円、7万円、10万円と町から支給され喜ばれている。ところがこれを今年度から一律で3万円に減額しようという条例の改正案が宝達町長から提案されている。(この条例の成立過程と趣旨を知る者にとっては)減額は全く理解できないのだが、(町長は当時議員をされているが)条例成立過程と主旨をご存知か。

また、成長祝い金を受給した方々に町が行ったアンケート調査では、ほとんどの方が「祝い金は役立っている」との肯定的な回答を寄せているのに、この同じアンケート結果を根拠に金額の削減を行うという根拠は何か。

答 住民課長

「成長祝い金」の趣旨は「宝たち成長祝い事業」の一つとして、町の宝である子どもたちの成長を祝うとともに、若者が安心して子育てができるように子供の成長に合わせて祝い金をお贈りするものとして平成28年度から総合戦略事業として実施しているものである。配布した「アンケート」結果については(確かに)大半が「もらえてありがたい」という意見である。

再質問 小島議員

「もらえてありがたい」というほとんどの若いご夫婦の意見があるにもかかわらず、なぜ、祝い金の金額を削減するのかという私の質問の答弁になっていない。

そもそも、成長祝い金が支給される年齢はそれぞれ学校の入学式にあたる年齢である。法律で教育費の無償が明記されているが、実態は、教育費に大変な負担がかかるの

は周知の事実である。特に、入学時に大変な費用がかかる。小学校入学時には10万円を超える金額が、中学校入学時には20万円から30万円が、高校入学時にはもっとかかるのである。この実態をみて、前町長が町の財政再建で大変な思いをさせている町民の中でも、子育て世代にせめて、しわ寄せを少なくしようという配慮からできた制度である。だから、支給する金額が違っているのである。なぜ、この金額を削るのか再答弁をお願いしたい。

答 寶達町長

10万円は「少し高い」という思いで、判断をした。ただ、住宅新築等奨励金や出産祝い金は増額としている。

会期中の
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(3月8日)

問 志雄病院跡地の土壌汚染調査について

答 体温計や血圧計といった水銀を含んだものや放射線機器があったことから、土壌に影響がないか調査する。

問 看護師の充足数について、またその中で、正看護師、准看護師の割合は。

答 平成31年度の採用により施設基準を満たす看護師数となっており、また、看護師45名のうち、准看護師は4名となっている。

問 看護師の再任用は何名か。

答 現在、3名が再任用で65歳まで再任用している。

問 今後の地域医療の体制は。

答 消化器系の常勤医を確保する必要がありと考えている。

る。また、訪問診療も含めて人員を考えていきたい。

問 病院内の売店が撤退されるが、今後の対策は。

答 入院患者やその家族の利用も多いことから、関係各局と相談しながら対策を進めていきたい。

問 職員駐車場の修繕について

答 表面の砕石が一部削られた部分には、雨水がたまるように砕石の追加などをして補修している。

問 医療費の支払い方法について

答 現在、クレジットカードを使った診療費、入院費の支払いができるよう進めている。運用がされ次第、広報やホームページで周知していく。

教育厚生常任委員会

(3月11日開催)

問 A L T (外国語指導助手)の配置人数について

答 中学校1名、小学校に1名

の合わせて2名の配置としている。また、4月から英語専科の教諭が配属される。

問 小学校の洋式トイレへの改修工事について

答 小学校の統廃合を踏まえ、31年度には実施しない。

問 中央保育所の建てかえについて

答 現在、県において子浦川の浸水域の調査中でその結果が次第、建てかえの場所あるいは現在の建物を改修するかを検討したい。

問 しお放課後児童クラブの改修について

答 31年度はトイレの改修をする予定。今後は、場所についても検討していきたい。

問 宝浪漫マラソン実行委員会への補助金が増額しているがその理由は。

答 昨年は案内看板が少なく、迂回路など分かりにくかったことから、案内看板を多く設置するための費用が増大している。

問 宝浪漫マラソンへの警察からの意見は。

答 渋滞が発生したことから、コースの見直しなど十分配慮してほしいとの意見があった。

問 宝浪漫マラソンで救急車の出動はあったのか。

答 救急車3回、救護者で1回の計4回で、熱中症などの体調不良で宝達志水病院へ搬送している。

問 宝達山クリーン登山を実施しないのはなぜか。

答 クリーン登山という名目で実施していたが、ほとんどごみがなくなっていること、児童生徒たちを先導していた猟友会の高齢化による不参加により、安全面も考え31年度は実施しないこととした。しかし、小学生から高校生までと一緒に交流できるものであるから、新たな取組を考えていきたい。

問 宝達高校を支援する会の助成金について、前年と同じ100万円だが、他に要望

があれば予算はつくのか。

答 地域や学校の振興につながることであれば、学校や関係機関等と協議し、検討したい。

問 サッカー場について、用地を購入し、公式競技ができる大きさに改修する予定はあるのか。

答 用地購入は先になるが、公式規格の105mになるように改修していきたい。

問 末森城の整備計画は。

答 除草作業や枝打ちなどをシルーバー人材センターや専門業者に依頼し実施する予定。

問 就学援助費の増額について

答 他市町の状況を調査し、検討していきたい。

問 宝達中学校図書室の一般開放について

答 利用頻度が少ないこと、警備員の配置費用がかかることから、現在一般開放していない。

問 紙おむつ購入助成は、介護

度により支給しているのか。
答 介護度ではなく、在宅介護している人の所得に応じた支給している。

問 健康増進法の一部改正に伴う対策は。

答 公共施設の敷地内は禁煙することになっており、総務課および関係課と協議し対策を進めていきたい。

問 土曜授業は実施しているのか。

答 31年度は実施しない。部活動やクラブの大会などそろわなかったり、他市町でも縮小や実施しない形もなってきた。

問 運転免許証の自主返納に対する町の取組は。

答 商品券もしくはデマンドタクシーの利用券を交付している。

総務産業建設常任委員会

(3月13日開催)

問 白虎山公園、古墳公園、宝達川の堰堤等、桜が荒れ

てきている。公園管理費400万円の予算で樹勢を回復するような方策になるのか。

答 平成30年度から段階的に剪定や伐採などを行っている。

問 ふるさと納税返戻品の選定方法について

答 町の特産品で国の基準によるものとしている。

問 ふるさと納税の使い道について

答 一般財源化して事業に使用しており、町ホームページで公開している。

問 過疎地域に指定されて2年

たつが、今までに過疎債に充当されたものは何か。また、今後の充当先の見通しは。

答 主なもので武道館改修事業、広域圏事業などに充当した。今後は、事業内容の有利なものに充当していきたい。

問 宝たち出産祝い事業の支給方法について

答 アンケートでは金券は、町

内では使いにくいという声や、金券の受給を受けていない人が利用しているというようなケースも聞かれるが、町内の商工業の振興のため、金券はもちろん現金でも町内で利用してもらえようポイントカード会と連携して進めていきたい。

問 光ケーブルを使用できるエリアはどこか。

答 NTT光については、押水地区全域、志雄地区は山側の集落を除く地区が使用できる。

問 シルバー人材センターの民営化について

答 他市町の状況を調査し検討したい。

問 松くい虫の対策事業費が減額になって理由は。

答 剪定するエリア内で完全に枯れ果てたものがあり、その部分は補助対象外となるため減額となった。

問 抵抗性のある松の苗木の促進は考えているのか。

問 現在、北川尻の一部まで進んでおり、引続き県へ要望していく。

問 下水道使用料を値下げしたことにより、基準外の繰入

が増加していくことになるが、今後の下水道会計の運営方法は。

答 支出の減額、施設の統廃合、維持管理の集約等に対応していきたい。

姉妹都市下呂市へ表敬訪問

★平成31年3月22日、23日

今回の訪問は、本年1月7日に新体制となってスタートした本町議会において、姉妹都市である下呂市、下呂市議会に対し表敬訪問を行い、今後も変わらぬ交流が続けられるよう両議会の絆を深めるため行われたものです。

本町議会一行を迎えてくれた、各務市議会議長、村山副市長と懇談し、柴田議長からは、2年前に下呂市議会総務教育民生常任委員会が訪問されて以来、来町されていないことから再び本町を訪問されるよう要請しました。



(下呂市・下呂市議会表敬訪問の様子)

懇談後、改修工事を終えたばかりの議場の施設見学を行ったほか、各務市議会議長の案内で、創業一六八〇年の老舗の酒蔵見学を行いました。
今後、両議会の交流を一段と重ね、さらに強固な絆を築いていきたいものです。

町議会誌 2月〜4月

【2月】

- 1日 立志式
- 8日 病院運営特別委員会
- 12日 羽咋郡市広域圏事務組
合全員協議会
- (羽咋市)
- 13日 石川県市町村消防賞
ゆつ金組合議会
(金沢市)
- 石川県市町村消防団員
等公務災害補償等組合
議会(金沢市)
- 監査委員協議会臨時総
会並びに研修会
(金沢市)



(宝達中学校 立志式)

- 15日 議会運営委員会
- 20日 後期高齢者医療広域連
合議会定例会(金沢市)
- 21日 石川北部RDF広域処
理組合議会定例会
(志賀町)

- 22日 羽咋郡市広域圏事務組
合議会定例会(開会)
(羽咋市)

- 25日 議会運営委員会
合全員協議会

- 26日 例月出納検査

- 27日 羽咋郡市広域圏事務組
合例会出納検査
(羽咋市)

- 能登地区町議会連絡協
議会(七尾市)

【3月】

- 1日 宝達高校卒業式
- 7日 議会運営委員会
第1回町議会定例会開

- 8日 病院運営特別委員会
- 9日 宝達中学校卒業式
- 11日 教育厚生常任委員会
- 13日 総務産業建設常任委員
会

- 15日 小学校卒業式
議会運営委員会
第1回定例会閉会

- 22〜23日 下呂市表敬訪問
議会運営委員会

- 25日 例月出納検査
- 26日 県町村議会議長会議長
協議会(金沢市)
- 27日 羽咋郡市広域圏事務組
合例会出納検査

- 28日 社会福祉法人渚会理事
会(ちどり園)

【4月】

- 5日 小中学校入学式
- 8日 宝達高校入学式
- 10日 町民生・児童委員協議
会総会(アステラス)
- 11日 石川県町村議会議長会
定期総会(内灘町)

- 19日 町体育協会総会
- 23日 宝達山開山祭
(宝達山頂)
- 25日 例月出納検査
- 26日 議会運営委員会
議会全員協議会
第3回臨時会



(宝達山開山祭)

広報編集特別委員会

- 委員長 塚本 勇仁
- 副委員長 小島 昌治
- 委員 守田 幸則
- 委員 土上 猛
- 委員 林 稔

令和元年6月1日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会
〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1
TEL(0767)29-8310(直通)
FAX(0767)29-4623

■編集

宝達志水町議会
広報編集特別委員会

議会を傍聴しませんか

令和元年第2回町議会定例会を開会します。
町民の皆さんの議会傍聴をお待ちしております。

開催日時 6月6日(木) 午前10時

※会議の都合により開催時間が遅れる場合があります。

当日は、傍聴券を午前8時30分から配布いたします。

問い合わせ 議会事務局 TEL29-8310



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。